



巻頭言 『居心地のよい学級』とは

学校教育課 学事係 指導主事 山岸 一朗

30代の半ばに大学院に派遣される機会を得ました。指導教官であるT先生の研究室のゼミを受講したのですが、呆然とするばかりでした。事前にテキストを読んでも全く頭に入ってきません。日本語で声に出して読めるのに意味がつかめません。ゼミ当日には、自分の感じたことを堂々と述べる学部生に圧倒され、わからないどころか参加者の発言を促してゼミを盛り上げようとする院生Sさんの姿にレベルの違いを感じました。ゼミが行われる「607 控室」の壁一面にある分厚い教育書と先輩方の修士論文が重くのしかかってきます。ゼミにもついていけなくては、修士論文を書くことなんて不可能であり、ここは自分の居場所ではないとさえ思えてきました。修士論文が書けなくて屋上から…という都市伝説も頭をよぎり、大学院派遣は、人生最大の選択ミスだと思われました。

そんな時にT先生が次のような話をしてくださいました。「私は個に応じた指導をします。ですから、ここに来るまでどのような勉強をしてきたか、してこなかったかで差別はしません。この研究室では、『集中・徹底・謙虚』がモットーです。ここで『集中・徹底・謙虚』に励めば、人間が出来、人間が出来れば修士論文も出来ます。」

それからは、毎朝「607 控室」に行ってコーヒーを入れ、学部生・院生と様々な話をしたり、T先生への来客を取り次いだりしていました。相変わらずゼミの方は難解でしたが、周囲の人とのつながりもでき、少しずつ大学院生としての生活に慣れていきました。重くのしかかってきた「607 控室」の本も、T先生が学部生や院生のために用意してくださっていることがわかってきました。明らかに私に向けた本がさりげなく置いてあるのを見付けたときは、「自分もここに居ていいんだ」と感激しました。

T先生から叱られることも度々ありましたが、勉強の不出来ではなく、『集中・徹底・謙虚』に関することであり、特に『謙虚』さに欠ける言動には厳しくしられました。

常に緊張感はありませんでしたが、その「607 控室」は、『集中・徹底・謙虚』という目指す姿が明確で、互いを認め合うことのできる居心地のよい空間でした。先日T先生の告別式で焼香した時は、T先生と研究室の仲間への感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今、市内の多くの学級で、居心地がよくて別れるのが惜しいような「学級じまい」が行われているのではないのでしょうか。そして、4月に素敵な「学級開き」が行われることを願います。

小中一貫教育

本年度も小中一貫教育の事業に熱心に取り組んでいただきありがとうございました。
今年度の小中一貫教育実施計画であげた **3つの重点事項**について振り返ってみます。

■ 共通取組事項「自己有用感を育む」取組

自己有用感を育むには、児童生徒が所属する学級が落ち着き、温かい雰囲気安定していることが前提となります。今年度から行っている学校教育課の主要事業である「居心地のよい学級づくり」支援事業に全小・中・支援学校で取り組んでいただきました。WEBQU を活用した学級集団づくりを進めるなかで、多くの学級で親和性が増してきているというデータも上がってきています。来年度もこの事業は継続する予定であり、児童生徒の自己有用感を育む取組の下支えになり、十日町市の3つの教育課題（学力向上、不登校・いじめの減少、特別支援教育の充実）解決に寄与するものと思われます。

■ 地域組織・生涯学習との連携推進についての検討

「地域が支える学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の連携を目指す地域学校協働活動にかかわる取組が各学校や地域でどれくらい行われているか、紙面と聞き取りの調査を行いました。学校とコミュニティ・スクールの学校支援地域コーディネーターの連携や学校運営協議会の協議等の積み重ねにより、地域と学校が連動した活動がたくさん行われていることがわかりました。今後はこれらの資料を基に地域学校協働活動のさらなる推進に向けて検討していきます。

■ 「十日町市小中一貫教育基本計画」改訂について

平成22年に作成された「小中一貫教育基本計画」を改訂しました。小中一貫教育立ち上げにかかわる記述を削除し、十日町市の小中一貫教育の特長やこれまでの取組・これからの方向性を示しました。（保存場所：[職責別¥01_学校間共通¥03_小中一貫教育¥001_十日町市小中一貫教育基本・実施計画](#)）



※令和5年度十日町市小中一貫教育実施計画(案)の一部。

現在は、その基本計画を基に「令和5年度小中一貫教育実施計画」を作成中です。

左図のように、3つの方策（教職員のつながり、児童生徒のつながり、地域とのつながり）を全面に出し、視覚的に見やすいようにリーフレット風にしました。年度当初に確定したものを示します。

教育相談班より

令和4年12月に改定された「生徒指導提要」の中で、十日町市学校教育の重点における共通課題である「不登校・いじめの減少」「特別支援教育の充実」に関連する内容を取り上げると、いくつかのキーワードが見えてきます。（以下、「生徒指導提要」より引用）

■ 不登校対策につながる発達支持的生徒指導



● 魅力ある学校づくり・学級づくり

全ての児童生徒にとって、学校・学級が安全・安心な居場所となるような取組を行うことが重要。

安全・安心

- ・自分という存在が大事にされている
- ・心の居場所になっている
- ・学校が自分にとって大切な意味のある場になっている

分かる授業

● 学習状況等に応じた指導と配慮

不登校の原因として、学業の不振がその一つとなっている場合があることから、個別最適な学びを実現できるような指導の工夫をすることが大切。

- ・ **どの児童生徒も分かる授業**
- ・ どの児童生徒にとっても面白い授業

■ いじめ防止につながる発達支持的生徒指導

児童生徒が「**多様性を認め**、人権侵害をしない人」へと育つためには、学校や学級が、人権が尊重され、安心して過ごせる場となることが必要。したがって、「**全ての児童生徒にとって安全で安心な学校づくり・学級づくり**」を目指すこともいじめ防止につながる発達支持的生徒指導と捉えることができる。

- 「多様性に配慮し、均質化のみに走らない」学校づくりを目指す
- 児童生徒の間で人間関係が固定されることなく、対等で自由な人間関係が築かれるようにする
- 「どうせ自分なんて」と思わない自己信頼感をはぐくむ
- 「困った、助けて」と言えるように適切な援助希求を促す

認める

安全・安心

■ 発達障害に関する対応

<校内の支援体制>

分かる授業

認める

- ① まず、発達障害のある児童生徒を含む全ての児童生徒を対象に、学級全体での指導や支援を行う。

☞ **分かりやすい授業、認め合い支え合う学級集団が基盤**

- ② ①だけでは不十分な場合は、学級の中で個別的な指導や配慮を工夫する。

- ③ 必要に応じて、個別な場（通級による指導）での個別的な指導や支援を行う。

<学習面、行動面への指導・支援>

【学習面】できていないことやうまく取り組めていないことに注目しがちだが、

☞ **できていることを認め、得意な面をうまく生かした指導や支援を**

- ・ 強みを活かした学習方法に変える
 - ・ 合理的配慮を用いる
- 実力を発揮し、伸ばし、評価される支援を考える。

【行動面】注意や叱責だけでは改善は難しいという前提に立ち、

☞ **適切な行動を増やしていくという視点をもつことが大切**

- ・ 望ましい行動を具体的に教える
- ・ 実行できたら褒める

成功により成就感や達成感が得られる経験と、**それを認めてくれる望ましい人間関係が周囲にある**ことが、何よりも大切。



認める

学習指導班より 令和5年度 教育センター学習指導班事業について

令和5年度の事業の概略（3月1日現在）を示します。先日各校の担当者にも説明しましたが、詳細は4月に「教育センター要覧」を配付しますので、それをご覧ください。

※「居心地のよい学級づくり」事業については、より実践的な内容にステップアップします。

＜削減する事業＞

1 学力向上計画訪問

→令和3年度まで実施していた各中学校区での授業公開・協議等の研修は行いません。

2 大地の芸術祭活用事業

→令和5年度は行いません。

＜小中一貫教育に係る事業で縮小する事業＞

1 「自己有用感」関する報告は、今年度と同様に行いません。

2 各中学校区で作成していた「教科の9年間の学習系統図」「心の教育の系統図」「総合学習等の系統図」の提出は求めません。各中学校区で必要に応じて、活用したり、修正したりしてください。

＜ICT関連の研修＞

より具体的な研修を行います。要請訪問 ICT 研修も受け付けますが「ロイロノート研修」「ICTオンライン研修」の内容を工夫しましたので、希望があればドシドシ申し込んでください。

1 主要事業「居心地のよい学級づくり」支援事業 ・ 指導力向上事業

	名 称	対 象	内 容
居心地のよい学級づくり	(1) WEBQU	小学校＝1年～6年	年2回のWEBQUを市内全小1～中1で実施します。また、それぞれ実施後に事例検討会を実施し、学級づくりを全職員で推進します。
	(2) 事例検討会	中学校＝全学年	
	(3) 学級づくりスタンダードプランの確実な実践	学級担任・学年部・全職員	学級づくりスタンダードプランの実践や修正・記録を行い、持続可能な取組を進める。学級目標や学級イメージは4月末頃には入力する。
	(4) アドバイザーによる学校訪問（学校訪問①）	ア) 指定学校訪問 イ) 要請訪問	ア) 教育センターが指定する学校にアドバイザーが訪問し研修する。 イ) 希望のある学校の要請により、アドバイザーを派遣する。
	(5) 授業に係る学校訪問②	各小学校 ※ (4) の対象校を除く。	主体的・対話的で深い学びのある授業について参観し、事業担当者・校内推進員・指導主事で情報交換を行う。
	(6) 研修 ①全員研修会	全教職員	①事業の趣旨や共通の目標を説明します。 ②インクルーシブ型学級づくりについての講話
学校訪問	(6) 研修 ②WEBQU研修会	新規校内推進員・新採用職員・転入職員等	WEBQUに初めて触れる教員を対象に、WEBQUの見方等を研修します。
	(6) 研修 ③担当との打合せ	事業担当者・校内推進員	次年度の事業について説明します。
キャリアアップ研修	要請訪問	要請する学校、各団体（都市教振等）	要請に基づいて訪問し、学力向上や授業改善、校内研修等にかかわる指導・支援を行います。
	中越事務所：重点教科訪問、授業改善支援訪問	中越教育事務所の計画による。	今年度は数学で、中越教育事務所：重点教科訪問を実施します。教育センターは、連携を図りながら授業改善や学力向上を支援します。
オンラインICT研修	サポート訪問研修	原則として教職10年未満の教員（教諭、講師、助教諭等を含む。2年目教員を優先）	市内学校に勤務する教員の個人研修や校内研修の支援等とおして、教員一人一人の指導力の向上を図るとともに、学校全体の教育力を高めます。
	中学校教科担当者会議	中学校の各教科担当教員（教科主任を基本とする）	市内中学校教員の指導力向上（若手教員のサポート訪問研修も兼ねる）をねらい、教科担当者の研修を支援します。情報交換や資料の共有など、ネットワークづくりを進めます。
	ミニ講座	小学校・小学部教員のサポート訪問研修受講者	小学校教員の教材研究や授業公開の場を、ミニ講座として提供します。出前講座（要請訪問）としても受け付けます。
	エキスパート教員研修（1）	希望する全職員	市内「エキスパート教員」の優れた教育指導技術の普及や実践紹介により、市内全体の教員の指導力向上を図ります。
オンラインICT研修	エキスパート教員研修（2）	希望する全職員	市内「エキスパート教員」の優れた教育指導技術の普及や実践紹介により、市内全体の教員の指導力向上を図ります。
	全員研修会「ICT活用」	全教職員	ICT活用方針とネットワークの基本を説明します。
	新任転任教職員ICT研修	新任転任教職員	校務支援システム「C4th」の基礎を学びます。ロイロノートは下記参加
	ロイロノート研修（初級） 〃（中級） 〃（各種）	希望者	「ロイロノート」の基礎を学びます。 教科で思考ツールの活用を学びます。 ロイロ社のオンライン研修（初級～認定ティーチャー）で学びます。
ICT関係	GoogleforEducation初級デジタル教科書初級学びを深める表現活動特別支援教育でICT校務や授業でAIを	希望者	課題の出し方、アンケート、共有などを体験します。 学習者用デジタル教科書（英語、算数数学他）を体験します。 動画づくり、問題づくりを体験します。 特別支援アプリ、ディジー教科書を体験します。 文字起こしや、ChatGPTを体験します。
	ICTを活用した授業動画配信	希望者（校内研修の授業者）	各教科のICT授業実践を録画し、効果的な活用法を動画で発信します。
	情報教育担当者会議	情報担当者	ICT活用について情報共有し、指導・助言します。
	ちょこっとICT要請訪問	要請する学校、各団体 養護教諭、事務職員の希望者	要請に基づき、ICTを活用した授業や教育活動の指導・支援を行います。 C4thでの「保健管理」「文書管理」を学びます。
専門職位研修	校務支援システムC4th研修	中心となって作業する者	成績処理・通知表・指導要録作成を学びます。 学校情報配信アプリ、ホームページ作成を学びます。 年度更新作業を学びます。
	学力向上推進会議	小・中学校研究主任（または学力向上担当者）	市の学力に関する課題や取組についての情報提供を行います。
	読書活動推進事業	①小中学校図書委員児童生徒 ②図書館教育担当者	①図書委員会サミット、②図書館教育担当者研修を開催します。第2次「十日町市子ども読書推進計画」に基づき読書活動を推進します。
	初任者研修ボランティア体験研修（法定研修）	初任者（悉皆）	市立里山科学館「森の学校」キャロロでのボランティア活動を体験することにより、教員としての資質向上を図ります。
その他	事務職員研修	学校事務職員（郡市）	事務処理の実践力を高め、職務に対する使命感を醸成するとともに、専門的な知識を身に付けます。
	新採用・若手事務職員研修	新採用・若手事務職員（郡市）	新採用・若手事務職員の実践力と使命感を養い、専門的な知識・技能を身に付けます。3年目までの事務職員が対象です。
	学力分析・情報提供	小・中学校（支援学校）	NRT標準学力検査や全国学力・学習状況調査、Web配信集計システム等による学力分析及び学習指導に関する情報提供を行います。NRTは市の事業予算で実施します。
	「ふるさと教材」活用事業	小5対象（中学生も使用可）	「ふるさと教材」を配付し、児童生徒のふるさと学習の広がりと深まりを図るために補助教材を提供します。
その他	「大地の芸術祭」活用事業	小・中・支援学校	令和5年度の事業はありません。令和6年度の実施については未定です。
	小学校社会科副読本「わたしたちの十日町市」作成事業	小学3・4年生	市教振と連携しながら、小学校社会科副読本の改訂を行います。地域教材を生かした社会科学習の円滑な推進を図ります。
	①「十日町市の学校教育」 ②「実践報告集」の作成	小・中・支援学校	年度始めの①「十日町市の学校教育（教育課程報告に代替）」と年度末の②「実践報告集」を作成します。
	関係機関との連携		理科教育センター、郡市教育振興会、郡市中学校教育研究会等と連携し、教員の指導力向上にかかわる支援を行います。

2 英語教育推進事業

	名 称	対 象	内 容
英語授業支援	小学校外国語サポート訪問	小学校8校（中学校区を基に実施）	中学校区単位で小学校1校訪問し、授業公開や協議会をととして外国語科授業力の向上を図ります。他校からの参加も可。
	ALT学校派遣事業（ALT担当者会議）	小・中・支援学校（英語教育・ALT担当者）	各校の英語教育推進の支援としてALTを派遣します。小学校外国語教育については、研修や教材研究の支援も行います。
	英語・外国語活動授業力養成講座	中学校英語担当・小学校外国語担当	小中学校の外国語教育担当教員を対象とした研修講座を実施し、授業力の向上と教職員間のネットワークづくりを推進します。
英語環境文後	イングリッシュキャンプ	小学校高学年（希望）	小中学生を対象に、英語及び外国人にふれる機会を提供し、英語への興味関心やコミュニケーション能力を高めます。
	カナダ・ビクトリア語学研修&ホームステイ体験	中学2年（2名募集予定）	中学2年生を対象に、カナダ・ビクトリアへの語学研修とホームステイ体験を募集します。選考検査（作文と面接）や事前研修も実施します。

学校教育課・教育センター事業のお知らせ ～4・5月～

日 時	内 容 ・ 会 場 (基本オンライン開催)	備 考
4 月 4 日 (火)	年度始め十日町市教職員一斉研修 【第1部】 ・「居心地のよい学級づくり支援事業」について、ICT・ネットワーク等 【第2部】 ・十日町市が進める小中一貫教育について ・C4th について	対象:第1部…全教職員 第2部… <u>十日町市に初めて勤務する新任・転任の全教職員</u> (校長、教頭、教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員、講師、助教諭等) ※各校を繋ぐオンラインで開催 (Zoom)
4 月 6 日 (木)	教育支援員研修会① 【川西庁舎】	講師：学校教育課 職員 対象：教育支援員・学校看護師 (新規者のみ)
4 月 12 日 (水)	情報教育担当者会議	対象：情報担当者
4 月 13 日 (木)	小中一貫教育校内コーディネーター及び統括コーディネーター研修	対象：小中一貫教育校内及び統括コーディネーター
4 月 19 日 (水)	就学支援・特別支援教育説明会 【千手コミセン】	説明：学校教育課 指導主事 対象：特別支援教育コーディネーター
4 月 19 日 (水)	新任転任教職員 ICT 研修 ロイロノート初級	講師：ロイロ社 対象：新任転任教職員で未経験者
4 月 26 日 (水)	ロイロノート中級	対象：希望者
5 月 9 日 (火)	Google for Education 初級	対象：希望者
5 月 10 日 (水)	WEBQU 研修会	新任転任教職員・希望者
5 月 16 日 (火)	デジタル教科書初級	対象：希望者
5 月 17 日 (水)	事業担当者・校内推進員打合せ	対象：事業担当者・校内推進員
5 月 25 日 (木)	サポート訪問開講式	対象：サポート訪問参加者
5 月 26 日 (金)	不登校対策研修会 【川西庁舎】	講師：中越教育事務所 指導主事 対象：校長